

授業展開例（特別活動）

- 1 学年 全学年（全校児童）
- 2 議題 「みんなで楽しめる収穫祭を考えよう」
- 3 議題について

毎年行われる「収穫祭」は、地域の人達も参加していただく大きな行事である。この収穫祭に大勢の人が参加していただけるように、また、みんなが楽しめる会になるように、子ども達自らの考えた「収穫祭」になるように議題を提案した。

話合いの柱は、大勢の人達に参加してもらう工夫と当日みんなが楽しむための工夫の2点とした。したがって、この「収穫祭」までにできること、当日にすることの視点を明確にして話し合うことが大切である。この話合いを通して、「収穫祭」に対する児童の意欲を高めるとともに、全校児童集会のよさを感じ取らせたい。

- 4 指導観

これまで児童は、全員が『楽しい』と感じることのできる会にするために、常に「自分もよくて、みんなもよい」という視点を基に話合いを進めてきた。また、本年度、国語科の授業改善で培ってきた「伝え合う力」を生かして話し合おうとする姿が、全校児童の前でも少しずつではあるが見られるようになってきた。しかし、これまでの話合いでは、発言に偏りが見られる、議事の進行が不慣れである、会議の流れの中で建設的な意見が十分に出ないなどの課題があった。

今回5回目の話合いを迎え、「みんなの方を向いて話すこと」「反応しながら聞くこと」の確実な定着を図るとともに、大勢の児童が発言できるように、話合いが深まるように指導していきたい。また、常に「自分もよくてみんなもよい」という考えを根底に置きながら建設的な意見が出せるように指導していきたい。議長も全体の話合いの筋を考えながら話合いが進められるように、事前の打合せをしっかりと行わせていきたい。集会の終わりには以上の観点で評価を行い、次の話合いへの意欲を高めていきたい。

5 実施計画

議 題「みんなで楽しめる収穫祭にしよう」

提案理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人にたくさん参加してもらい，楽しんでもらえる収穫祭にしたいと思ったから。 ・全校児童で考えた内容で，地域の人と触れ合いたいと思ったから。 	
議 長	児童 2 名	提案者 6年生児童
書 記	児童 2 名	
話合いの順序		指導上の留意点
<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの言葉（書記） 2 議題の確認（議長） 3 提案理由の説明（提案者） 4 話合いのめあての確認（議長） 5 話合い <ul style="list-style-type: none"> 提案理由についての質問 いつするのか。（日時・時間の確認） 話合いの柱の確認をする。 <p>柱： 多くの地域の人に来てもらうためにはどうするか。 地域の人との触れ合いを深める工夫をどうするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自考えてきたことを発表する。 ・それぞれの意見について質問することを決定する。 <ol style="list-style-type: none"> 6 決まったことの発表（書記） 7 先生の話（評価係） 8 おわりの言葉（書記） 		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経緯も含めて提案させる。 ・収穫の喜びをみんなで分かち合い，自然の恵みに感謝するという収穫祭の目的を確認させる。 ・意見が出にくい時は，隣同士や小グループで話し合わせる。 ・提案理由や「めあて」に沿った内容の意見や児童のよさを認め，次の活動への意欲につながるような評価をする。 （自尊感情）

6 評価

- ・積極的に自分の考えを発表したり，友達のことを聞こうとしたりしていたか。
（コミュニケーション能力）
- ・収穫祭がみんなで楽しいものにできるような企画ができたか。